

2018年11月1日

(報道発表資料)

マルコメ株式会社
東日本電信電話株式会社 長野支店

コミュニケーションロボットを活用した 「社内コミュニケーション活性化・働き方改革を目的とした実証試験」の実施について

マルコメ株式会社(本社:長野県長野市 代表取締役:青木時男 以下、マルコメ)と東日本電信電話株式会社長野支店(所在地:長野県長野市 支店長:岩井修 以下、NTT東日本)では、働き方改革を目的とし、コミュニケーションロボットを活用した実証試験を開始します。

本試験は、マルコメ工場内にコミュニケーションロボットを設置し、工場で働く様々な勤務形態の従業員の方々への周知事項をロボットが行うことによる周知の徹底と効率化に加え、従業員とロボットのコミュニケーションを通じた社内コミュニケーションの活性化を目的として行うものです。

1. 背景

NTT東日本では、クラウド型ロボットプラットフォームサービス「ロボコネクト」を2016年9月から提供しており、コミュニケーションロボットの業務活用範囲の拡大、特に従業員の「働き方改革」への活用を目指しています。

一方、マルコメでは、工場で働く従業員へ会社からの様々な情報を発信していましたが、早朝や夜間など、勤務時間の異なるメンバーにも均質でより伝わりやすい情報発信の方法を模索していました。

こうした背景を踏まえ、NTT 東日本では、マルコメ各本部から工場で勤務する従業員に対する周知活動にコミュニケーションロボット「Sota®」※を導入し、遠隔からコンテンツを配信する仕組みを連動させることで周知の徹底と効率化を図るとともに、「Sota®」が話しかけることで、始業前の従業員が楽しい気持ちになるといった、従業員と「Sota®」との触れ合いを通じた社内コミュニケーションの活性化を目的とした試験を行います。

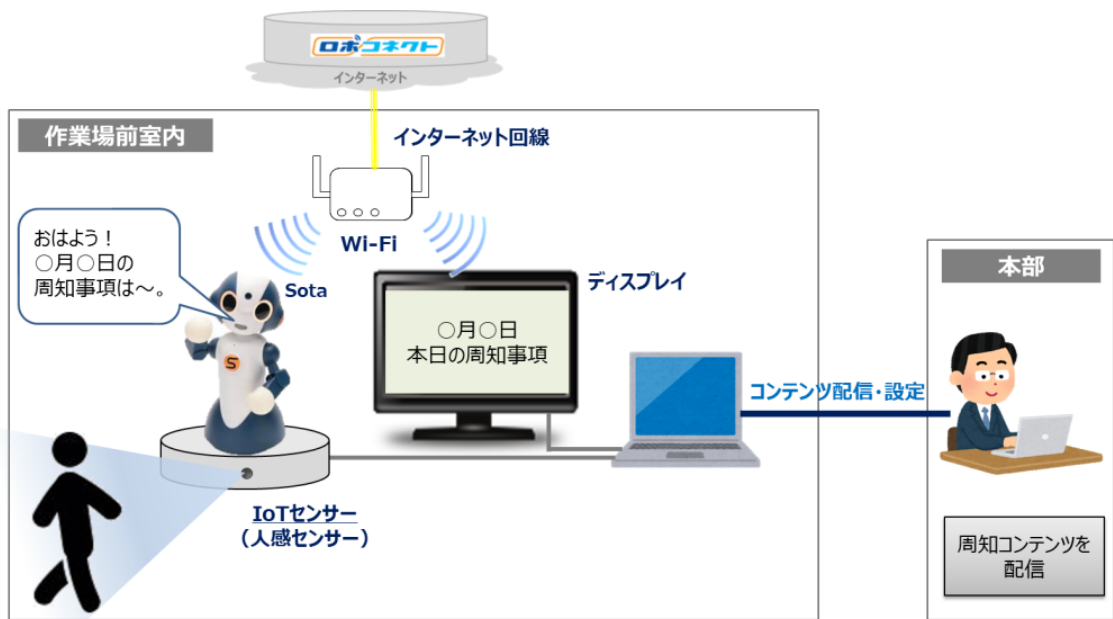
※「Sota®」はヴイストン株式会社の登録商標です。

2. 概要

(1) 試験の内容

マルコメ本社工場の作業場前室内に“コミュニケーションロボット+Wi-Fi+ディスプレイ等”を設置します。工場に入る従業員の動きにIoTセンサー(人感センサー)が反応し、「Sota®」がディスプレイに映るコンテンツ(本試験では本部からの従業員向け周知事項)にあわせて音声案内を行います。配信するコンテンツについてはインターネットを通じ、遠隔からの編集・更新作業を実現します。

<試験イメージ>



(2) 検証事項

- ・ 様々な勤務形態で働く従業員の方々への「周知内容の浸透、理解度向上」、および「周知業務の効率化」検証
- ・ コミュニケーションロボット導入による「社内コミュニケーションの活性化」の実用性検証

(3) 実施期間(予定)

2018年11月1日～(1ヶ月程度)

(4) 場所

マルコメ本社工場

3. 今後の展開

NTT 東日本では、本試験を通じてクラウド型ロボットプラットフォームサービス「ロボコネク」による社内の働き方改革、コミュニケーション活性化に資する「新しいソリューションの創出、機能の向上」をめざすとともに「地域とともに歩むICTソリューション企業」として、ICT技術の新たな活用シーンを創出することで、今後も地域の皆様を全力でサポートしてまいります。

本件に関する問合せ先
■ 本試験全般に関すること NTT東日本 長野支店 ビジネスイノベーション部 TEL:0120-339-740
■ 報道機関からのお問い合わせ NTT東日本 長野支店 総務・広報担当 TEL:026-225-2037